

残念！2部昇格成らず

4/20 女バレーの部別観戦のため高石高校に行ってきました。

結果は以下の通りで2位に終わり昇格は成りませんでした。

- 1試合目 天王寺 2vs0 関西創価  
(25-21/25-21)
- 2試合目 天王寺 1vs2 高石  
(25-17/16-25/10-25)
- 3試合目 天王寺 2vs0 芦間  
(25-20/25-23)





天王寺の試合に先立って高石と芦間の対戦を観戦した。高石のエース(キャプテン)はどこからでも打ってくるし、芦間のエース(キャプテン)も本当に良いバネを持っており、何より楽しそうにバレーをしていた。芦間の方が攻撃力が優れている様に感じたが、結果は2-0で高石が勝った。攻撃力だけをとれば天王寺はどちらのチームにも勝てそうにないと感じ、初戦の関西創価戦の結果次第では早々に降格が決まってしまうのではとさえ思っていた。

3部といえども手強いチームが多いというのが第一印象。

しかし、いざ始まってみると、今日は本当にサーブレシーブ、アタックレシーブが安定していた。3年生、2年生の両センターがしっかりとブロックを飛び、かつ随所でシャットアウトをとっていたこともレシーブをしやすくしていたと思うし、また、フェイント、強打に対しても粘り強く繋げていた。

好調な守備が攻撃にも良いリズムを与えていた。

2年生エースは、フォームのバランスが良く、ライト、レフト、センター、Aクイックとどこからでも、また多少トスが乱れても、難しい後ろから上がってくる2段トスでも打ち返していた。3年生センターもセンター、Aクイックが随所で決まっていた。

キャプテンは、今日も絶好調。攻撃、防御、精神面すべてにおいてチームを引っ張る。高さはないのだが、ブロックでシャットアウトされることはほとんどなかった。トスが近いと冷静にブロックアウトに取る。ストレート、クロスと足の長いアタックを打ち込んでいく。相手が後ろに下がったところで、したたかにフェイントを落とす。打てないボールは誰もいない超クロスにパスをついて落とす。良く相手コートが見えているのだろう。後衛に回ればバックアタックで掻き回す。

サーブでも、キャプテン、3年生センターが連続ポイントを上げていた。





高石戦の第1セット目を取った時は、昇格もあるかと期待したが、やはり、簡単には勝たせてくれない。第1セット目は関西創価戦で勝った勢いも手伝った感があったが、2セット目になると、常に先行され、追いかける形になるとあせりからかサーブレシーブも乱れ、試合中、山中コーチから何度か檄が飛ぶ。1セット目はたえず先行して余裕があったからか、フェイントも良く決まっていたが、防戦になると、堅くなってしまい、どうしても真っ向勝負では打ち負けてしまい、レシーブミスも増える。また、2年生も半分入っており、お見合いでイージーボールを返せないという場面も何度かあった。

タラレバになるが、自分たちのバレーを忘れずに、冷静にフェイントもできていれば、勝ったかもしれない。

最後の芦間戦では、勝敗に関わらず3部残留は決まっていた。それでも、天王寺は勝てるのかと心配ではあったが、強打、軽打を織り交ぜ絶えず先行して、しっかりと天王寺のバレーで勝ってくれた。

昨年のチームもそうであったが、昇格をするためには、基本は1つも落とせないのであり、劣勢の時にも集中力を絶やさずいかに我慢できるかがポイントになる。

昇格は逃したにせよ、今日は、”天王寺の勝ち方”を見た様な気がします。

今日も、今年卒業した66期を始め、父兄の方も駆け付けて頂き、熱く声援をしていただきました。

また、山中コーチ、河野先生 お疲れ様でした。